

平成24年度 第3回社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成24年9月15日（土） 13：00～
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室、
- III. 出席者：前田委員（ネット参加） 渡辺委員 井上委員（ネット参加）
山路委員 天野アドバイザー
（事務局）井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 議事概要

検討内容

学士力の解説

（1）学士力の背景について

学士力を設定した背景について、委員より作成された案をもとに、社会福祉学のミッションについて述べ、現代社会の状況や課題について論じ、社会福祉学教育の目標を記述することになった。具体的な課題としては、超少子高齢社会、社会経済の衰退化、貧困層の拡大化、地域社会のつながりの希薄化、社会的孤立の増大、災害被災者問題などが挙げられ、それぞれの項目に関して検討し、文章が作成された。

（2）到達目標の解説について

委員より作成された案をもとに、なぜ到達目標を達成することが必要なのかを述べ、達成目標について論じ、そのための具体的な内容を記述することになった。

【到達目標1】

「ここでは・・・学ばなければならない。そのためにまず、・・・目指す。」という表現に修正した。

【到達目標2】

ソーシャルワーカーの実践のときに指針となる理念、価値観、哲学の必要性を確認し、文章を修正した。

【到達目標3】

利用者と信頼関係を作るための基本的な態度を身に付けることの必要性を確認し、文章を修正した。

【到達目標4】

個別・集団・地域などマイクロからマクロまでの幅広く関わるソーシャルワークの知識と技術の必要性を確認し、具体的な支援過程のキーワードを挙げ、文章を修正した。

【到達目標5】

政策提言、調査、資源開発などの実践を考案、発信することの必要性が確認され、文章を修正した。

V. 今後について

24年度の委員会は本日で終了とし、社会福祉学教育における教育改善モデル（その1）、（その2）に追加する図、全体の確認は、メールで行うことになった。

以上